



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2021年
9月21日
発行

第104回

「西村証券若手勉強会報告」

～資本主義は勝ったのか～

初めに

ベルリンの壁崩壊から32年、冷戦は資本主義陣営の勝利で幕を閉じました。しかし最近、これって社会主義？と思うことがよくあります。各国の財政赤字は増加の一途をたどり、日本のように株価が下がれば中央銀行が買い支えに入る国もあります。FRBへの批判が湧き上がる米国も同じ様なものですが。そこで、資本主義は本当に冷戦に勝ったと言えるのかどうか、勉強会で取り上げたところ、最初はピンと来なかった参加者にも関心を持ってもらえたようです。サステナビリティと関連付けた意見もありましたが、これももっともでしょう。今回は、資本主義は本当に社会主義に勝ったと言えるのかどうかについて考えます。

資本主義は勝ったけど

確かに資本主義は勝利しましたが、資本主義そのものが変貌してしまった、というのが自分の見方です。資本主義も色々あるので、別の資本主義にとって替わられたということかもしれません。

新自由主義

冷戦に勝利した資本主義は新自由主義と呼ばれるものです。政府は小さければよく、全ては市場にゆだねられるべきという主張です。当時は米国にレーガン大統領、英国にはサッチャー首相、日本では中曽根首相と強いリーダーシップを持つ指導者が現れ、小さい政府を推進しました。これが冷戦で資本主義陣営が勝利する決め手になったと思います。その後も米国ではグリーンズパンFRB議長の安定した金融政策運営もあり、好況が続きました。

リーマンショックが転機に

こうした状況が変わるきっかけとなったのがリーマンショックです。GMなど大手企業が国有化され、株式市場では「バーナンキプット」という言葉が使われました。これは、株価が下がるとFRBが助けてくれるという意味でした。これは、小さな政府の修正であり社会主義に近づくものと言えます。

資本主義は勝ったのか

今回のテーマは「資本主義は勝ったのか」です。冷戦終了時点では確かにそうだったのでしょうが、現在は格差や差別など資本主義的な問題への対応が求められています。そういう意味では、社会主義的な政策が求められる局面が続くそうです。必ずしも資本主義が勝ったとは言えないと思います。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。